

# いっかく 狙え一攫千金!?

## 佐渡金山で山師気分

(新潟県・佐渡市)



ご当地のマドンナが案内する最旬の外遊びガイド

# 日本全県アウトドア巡り

佐渡金山といえば、日本最大の金銀採掘場所。そんな佐渡金山の坑道に、一般人でも入れるツアーがあるという。こりゃ、ヘタすると、金脈当てちゃったりなんかして!



その45

新潟県

洞窟初体験  
ドキドキです

今月のマドンナ  
加藤知陽さん

新潟市住んでモデルをしながら、現在はメイクさんを自指して勉強中。高校のころは陸上の短距離選手でインターハイ出場経験もあり。



「佐渡金山で金銀ざつぐざつぐ!」という短絡的企画は、出ばなからくじかれた。かつては大量の金銀を産出していた佐渡金山だが、残念ながら平成元年にその役目を終えている。でもそのかわり、今は敷地内に資料館を備え、観光客でも一部の坑道の中に入ることができるようになっていて観光地として賑わっている。今回我々が参加した「ガイド付 山師ツアー」は、2つの坑道を探検するという内容。じ、じつはまだ金、あるんじゃないの? という淡い期待とともに、まずは無名異坑に突入。ここは、佐渡の名物にもなっている無名異焼の材料になっている赤土を主に採取していた場所。「あー、こちらでは金は?」と聞くと、案内役の濱邊久弥さんから「奥のほうでは採れていましたよ」との答え。来たコレノズンズン奥に進んでいくと、今回のマドンナ役である知陽さんが「あれ? なんか光ってますよ!」と歓声を上げる。見上げ

かつては金銀ザックザク  
2つの坑道を巡ると  
鉱山の奥深さが見えてくる

坑道内にはトロツコや、捕強に使われていた木材などもあって、当時の雰囲気を残している。1tの金鉱石を積んだトロツコを1人で押していたらしい。坑道で使われていた明かりも年代別に展示。ちなみにカンテラは佐渡金山発祥なんだって！



お土産に  
金鉱石ゲット！



金は銀黒と呼ばれる黒い筋の中に多く含まれている。過去には江戸時代の技術では抽出できなかった金鉱石が、佐渡の海に大量に捨てられたとか。狙うは海か！



金銀だけじゃない！  
陶器の赤土も採取



無名異坑にある赤土は、佐渡名物・無名異焼の材料に。2003年には国の重要無形文化財にも指定。割れにくく、熱にも強いので、坑道内で明かり皿にも使用。

と確かにボンヤリと岩壁が銀色に光っている。こ、これは！「あー、これはカビの一種らしいです。水分を含むとこんなふうに反射して光るんですよ。まあ、キン(菌)のたぐいではありませんね」

濱邊さん、上手いこというな……。途中でコウモリやカエルを見つけてキヤアキヤアいながら進むと、突き当たりになにやら無造作に置かれている砂利のようなものが。

「金鉱石です。お土産にどうぞ」

あ、あるじゃないですか！知陽さんは楽しそうに目を輝かせながら、一方こちらは欲に目を眩ませながら選ぶ。でもじつは、小さな金鉱石に含まれる金はごくごくわずか。なんでも1tの金鉱石の中から金が5g抽出できれば良いほうなんだそう。気が取り直して次の大切山坑へと向かう。ここは江戸時代に掘られた坑道で、空気を確保するために2本の坑道を掘り、内部で繋いでいるのが特徴。なんでもこの仕組みは現在のトンネル

ルなどでも利用されているという。2本のうち片方は、近代になってから機械を使って拡張したものだけど、むしろ江戸時代のほうが壁面も滑らか。かつての土木技術の高さに驚く。ちなみに、最奥の400mまで掘り進めるのにかかった期間は14年。佐渡金山すべての坑道の総延長は、なんと400kmオーバー！当時最高の技術と最大級の労力を使って掘り続けたこの佐渡金山操業の歴史は388年！金の魔力、恐るべし。

金山資料館ゴールデン佐渡には金の延べ棒を取り出すチャレンジも。これがまた重いなのなんの。盗まれないのかな？と心配したら「メッキです」との答え。写真右はインスタ映えすると話題になっている浮遊選鉱場跡。



金の延べ棒をつかみ取るのだ！



金山茶屋では  
ゴールデンな  
グルメも

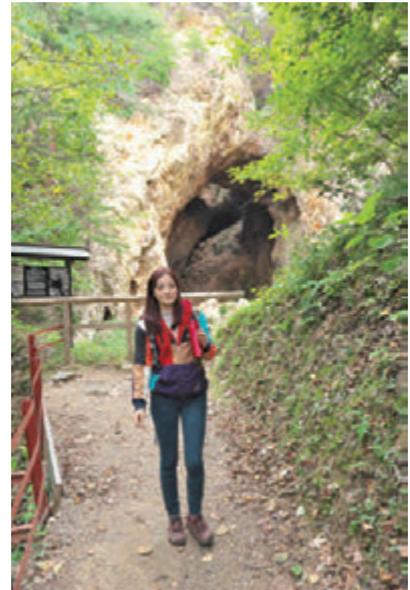


隣接する金山茶屋では、道遊の割戸をモチーフにした金山カレーや金山ラーメンなども。金山の名が付いたメニューはすべて金箔を使用。



# 地上にも見どころたくさん フォトジェニックな 道遊の割戸で小休止

江戸時代の露頭手掘り跡である道遊の割戸<sup>どうゆう われと</sup>は、絶好の撮影スポット。頂上付近にはハヤブサの巣があって、撮影当日もハヤブサが飛び回っていた。ちなみに坑道内の気温は季節問わず10度C前後と結構寒いので、温かい飲み物と冷たい飲み物の両方を用意しておくのもスマート。



口当たり柔らか 細かい配慮が嬉しい



軽量で持ち運び便利。飲みロッキング付きで口当たりも良く、少ないパーツで、お手入れもラクラク。真空断熱ケータイマグ / JNW-350 0.35ℓ 5500円(右)、JNW-480 0.48ℓ 6000円(左)

